

第91回 日本感染症学会総会・学術講演会  
第65回 日本化学療法学会学術集会 合同大会

シンポジウム17

今後の抗菌薬開発の方向性  
— AMR 対策アクションプランを受けて —

2017年4月8日 (土) 13:50~15:50  
京王プラザホテル 第1会場 南館5階 エミネンスホール

司会：佐藤淳子 (医薬品医療機器総合機構 国際協力室)  
平井敬二 (杏林製薬株式会社)

1. AMR 対策アクションプランを踏まえた臨床現場からの提案  
東京慈恵会医科大学 感染制御部 堀 誠治

2. グローバルな視点からの新薬開発の現状と今後の展望  
MSD株式会社 グローバル研究開発本部 白沢 博満

3. 有用なシーズの新規抗菌薬としての実用化に向けて  
塩野義製薬株式会社 医薬研究本部 山野 佳則

4. 今後の抗菌薬開発の方向性 行政からの提案  
厚生労働省 大臣官房審議官 (医薬担当) 森 和彦

5. The Global Antibiotic R&D Partnership (GARDP) :  
a public health approach to fight antimicrobial resistance (AMR)  
GARDP: 薬剤耐性と戦う公衆衛生的アプローチ

Drugs for Neglected Diseases *initiative* (DNDi) Jean Pierre Paccaud



本シンポジウムの聴講にあたり第91回 日本感染症学会総会・学術講演会/第65回 日本化学療法学会学術集会合同大会の参加登録が必要となります。詳細はホームページをご確認ください。 <http://jaid91-jsc65.umin.jp/>

DNDi (Drugs for Neglected Diseases *initiative* 顧みられない病気の薬開発イニシアティブ) は2016年5月にWHOと協働でGARDP (The Global Antibiotic R&D Partnership グローバル抗生物質研究開発パートナーシップ) を発足させました。GARDPのミッションは薬剤耐性 (AMR) に向けて抗生物質による新たな治療法を開発し、「責任ある使用」の促進を図り、すべてのニーズに公平なアクセスを可能にすることです。

皆さまのご参加をお待ちしております

